

いま、気になる4つの取り組みをPTA連合会が聞きました!!

GIGAスクール構想について 学校での新しい生活様式について コミュニティ・スクールについて 新しい学習指導要領について



津市教育委員会との対談(左より)
津市教育委員会より
伊藤 雅子(教育研究支援担当参事)
米山 浩之(生涯学習課長)
森 昌彦(教育長)
津市PTA連合会より
木原 剛弘(会長)
本橋 良介(副会長・広報担当)
野田 昌志(副会長・総括)

コロナ禍で進められている各単位PTAによる

新型コロナ感染症対策・熱中症対策の活動報告をご紹介します



■一人一台の端末を整備にあたって、何か保護者に経済的な負担はあるのですか？
実現に向け、児童生徒一人一台端末の整備を進めるための費用を6月の市議会で承認いただき、導入する端末については、文部科学省において示された補助対象の基本パッケージで、協働学習支援ツールや、オンライン学習等の必要な機能を備えています。今回の端末整備にあたっては、保護者の方に経済的な負担をしていただく必要はございません。

令和2年4月に新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、臨時休業が長期化し教育課程の実施に支障が生じる事態となり、国は、令和2年度中に全学年の児童生徒に一人一台の端末を確保するための支援を加速させました。小学校に13,902台、中学校に6,556台、そして指導者用端末として計796台を整備するための費用を6月の市議会で承認いただき、一人一台端末の導入を前倒しで進めることとなりました。

「GIGAスクール構想」については、コンピュータや情報通信ネットワークなどを活用できる環境を整備し、情報活用能力を、言語能力、問題発見・解決能力等と同様に「学習の基盤となる資質・能力」と位置づけ、子どもたち一人一人に応じた学習を実現させ、新たな時代を担う人材を育成することを目標に取り組んでまいります。

■津市では今年度中に、小・中・義務教育学校の児童生徒に一人一台のタブレット端末を準備することになったと聞きました。ICTの活用による「GIGAスクール構想」について教えてください。

GIGAスクール構想

新型コロナウイルスの感染拡大による未曾有の事態は、2ヶ月に及ぶ臨時休業など今までに経験したこともなく、子どもたちを取り巻く教育環境は大きく変化をしています。とくによく聞かれる、「GIGAスクール構想」「学校での新しい生活様式」「コミュニティ・スクール」「新しい学習指導要領」の4つのキーワードをもとに、森教育長にお話を伺いました。

新型コロナウイルスの感染拡大による未曾有の事態は、2ヶ月に及ぶ臨時休業など今までに経験したこともなく、子どもたちを取り巻く教育環境は大きく変化をしています。

コロナ禍で進められている各単位PTAによる 新型コロナ感染症対策・熱中症対策についての活動報告をご紹介します

橋北中学校PTA

6月から本部役員会を再開し、新型コロナウイルス感染症対策のため、例年のような活動ではなく「今だからできるPTA活動」として、子どもたちの学校生活を支援する活動に限定することに決めました。活動は、2学期からスタートします。活動内容は、新型コロナウイルス感染症対策として学校内の消毒作業を含めた美化活動と、先生方の日々の消毒作業により例年通り行えていない下校時の交通安全指導をサポートする活動を行います。

橋南中学校PTA

- ①保健室に加湿器機能付き空気清浄機を設置しました。
- ②子供たちの昇降口にミスト発生器を取り付けました。
- ③体育祭や屋外イベントに使用できるタープを購入しました。



空気清浄機

ミスト発生器

一身田中学校PTA

「サポーター中（地域の企業やゆかりのある有志の方々）」とPTAとで、地元企業の臼井繊維株式会社にご協力いただき、伊勢木綿のマスクを生徒関係者に配布することになりました。



伊勢木綿のマスクです

南郊中学校PTA

南郊中PTAの2020年本部事業のテーマを「『子どもと地域のために』～今できること～」とし、3月末から4ヶ月かけて事業を行ってきました。主な活動の取り組みは以下の3つです。

- ①マスク1000枚プロジェクト
- ②高性能エアコン除菌フィルター取付け
- ③マウスシールドの配布

- ①が最も時間がかかりました。特に計画・始動の3～4月の時期はマスク資材が品切れ寸前でした。次年度の組織や事業を総会が開催出来ない段階で事業をどう進めていくかなど、コロナ第1波の混乱のなか非常に苦労しました。そんな中、本部役員以外の会員さんもマスク作りに共感し参加していただき、PTA活動の素晴らしさを改めて感じる事が出来ました。マスク配布先なども学校だけに留まらず、日頃から連携している校区の外部団体さんに返返し出来ればと考えました。
- ②のエアコン除菌フィルターは、個々のマスクだけでは木を見て森を見ない事に気づき、学校内のエアコン全てに除菌フィルターを購入し、本部役員を中心に取付けを行いました。こちらの活動にも役員ではない会員さんまでお手伝いいただきました。
- ③のマスクシールドは学校側からの提案もあり、PTAの子ども応援費の予算から購入いたしました。合唱コンクールやその練習、音楽の授業などマスクを外す場面に使用予定です。



除菌フィルターの取付



マスク作成



除菌フィルター



今後の事業内容

下記は令和2年度の単位PTA会員参加型の主な事業内容です。開催内容・開催日未定の事業につきましては後日各単位PTA宛に配布する資料をご確認の上、参加の方をお願い致します。事業についてご不明な点がある場合は事務局までご連絡をお願い致します。

開催内容	開催日	開催会場	対 象
幼稚園部 交流会	11月29日(日)午後	安濃中公民館	幼稚園部員
小学校部会 交流会	11月29日(日)午前	安濃中公民館	小学校部会員
中学校部会 交流会	11月29日(日)午後	安濃中公民館	中学校部会員
子ども未来交流委員会 親子ふれあいフェスタ 親子交通安全教室	11月8日(日) 午前の部・午後の部／二部制	一志体育館	参加人数に制限があるため 抽選あり 小学3年生～ 6年生とその保護者
子ども未来交流委員会 親子ふれあいフェスタ 親子で星を見る会	11月14日(土) 18:00～20:00	村主小学校	参加人数に制限があるため 抽選あり 小学1年生～ 6年生とその保護者

文化研修部より

- 令和2年度出前講座につきましては随時募集をしております。詳しくは津P連事務局までお問い合わせください。
- 津P連研修会につきましては、現在、新型コロナウイルス感染状況により調整中です。開催の可否につきましては、決まり次第お知らせ致します。

幼稚園部・中学校部会より体育大会のお知らせ

今年度は1月頃開催予定をしております。今年度の参加につきましては、参加希望校のみの開催となります。参加希望校につきましては、内容が決まり次第、大会要項をお渡し致します。

今年度の事業については新型コロナウイルス感染状況に応じて、内容変更・中止の場合もあります。津P連ホームページにて詳細が決まり次第、随時更新していきます。

■津市が先進的に取り組んでいる「津市e-learningポータル」について教えてください。
児童生徒が家庭等でもオンラインで学習できるように、三重大学教育学部と連携して開設した学習支援システムです。本サイトには、津市教育委員会コースと各小・中学校等コースの2つのコースがあり、児童生徒は、一人一人のニーズに応じて学習を進めることができます。津市教育委員会コースには、標準的な学習を進められるように、教育委員会で作成した本市で使用している教科書内容に沿ったワークシートや動画等のコンテンツを掲載。外部の機関が作成している有効で専門的なコンテンツも活用

■子どもたちが端末を活用することで、どのように授業や学習のあり方は変わっていくのですか？
来年度4月からは、各学校において、一人一台端末を活用した授業や活動が実施されていくこととなります。今まで、教員が黒板等を用いて進めることが多かった。斉授業については、デジタル教材を効果的に活用することにより、可視化や共有化が図られ、子どもたちにとってより一層「わかる」「楽しい」授業となります。また、今まで教員が一人で授業の子どもたちの様子をリアルに把握していましたが、端末を活用することにより、子ども一人一人の反応を踏まえたいきめ細かな指導等が可能になります。これまでのような授業形態では、なかなか自分の思いや考えを伝えることができなかった子どもが、自分の思いや考えを様々な方法で表現し、教員や友だちとつながりながら授業に参加することも考えられます。

■情報漏洩などセキュリティは大丈夫ですか？
セキュリティ管理がなされているクラウドを利用して、情報漏洩については万全の対策を講じていきます。情報発信による他者や社会への影響について考える学習、ネットワーク上のルールやマナーを守ることの意味について考える学習、情報には、自他の権利があることを考える学習、情報には誤ったものや危険なものがあることを考える学習等を通じて、子どもたち一人一人が発達段階に応じて、情報を適切に処理できる力を育成していきたいと考えます。



津市教育委員会 教育長 森 昌彦

でき、児童生徒が家庭等で教科書やノートを使いながら学習を進められるように、系統立てて配列しています。

各小・中学校等コースには、各校の教員が作成したワークシートや動画等のコンテンツを掲載することができま。また、児童生徒が家庭等で課題に取り組みやすくなるよう、常に改善や工夫を図ってきたいと考えています。

今後、新型コロナウイルス感染症拡大により臨時休業となった際にも、豊富なコンテンツ等を活用し、予習や復習だけでなく、興味や関心がある内容の学習を、チャット機能等を使って教師や友だちとつながりながら、それぞれの家庭で進めることができ、また、ズームを活用したオンライン学習等についても、各学校において活用方法等を研修しており、顔が見える双方向のやり取りについても対応できるものと考えています。

■臨時休業となったとき、オンラインで授業ができればと強く実感しました。再び登校が難しくなったときに、この一人一台端末によるオンライン授業が可能なのですか？

今後、臨時休業となった際にも、「津市で「e3」ポータル」において、豊富なコンテンツ等を活用し、予習や復習だけでなく、興味や関心がある内容の学習を、チャット機能等を使って教師や友だちとつながりながら、それぞれの家庭で進めることができ、また、ズームを活用したオンライン学習等についても、各学校において活用方法等を研修しており、顔が見える双方向のやり取りについても対応できるものと考えています。

■各家庭でオンライン授業を実施しようとした場合Web環境等がないご家庭についてはなにか対策はありますか？

コロナ禍において大会に参加することができたことの喜びや感謝を感じることができたと思っています。

■新しい生活様式のなかで、子どもたちも不安や、ストレスを抱えていると思いますか？

不安を抱えている子どもたちも少なくないと考えています。そのため、各学校において日常の丁寧な子どもたちへの観察をはじめ、教育相談やいじめアンケート、日記等、様々な視点から悩み等を早期に把握し、対応につなげられるよう促しています。また、コロナ禍による影響が及んでいるのではないかと思われる友だちとの人間関係上の問題の報告も学校から受けており、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーといった心理や福祉の専門家及び関係機関との連携のもと、事例検討会やケース会議等を通じて、適切な支援や指導につなげることでできるよう取り組んでいます。

■修学旅行について心配する声をよく耳にしますが、市内の小・中・義務教育学校はどのような対応になっていますか？

すべての学校において、2学期に延期し準備してまいりましたが、新型コロナウイルス感染症が拡大していく中、調整しながら、安全に旅行を実施することはできないかというところを、それぞれの学校と教育委員会が、日々連絡を取り合い協議しながら、行き先、時期、宿泊地などの調整が続いているところです。子どもたちにとって最も強い印象として残り得る極めて価値のある教育活動です。各学校の状況にあわせて、可能な限り実施する方向で検討しています。



津市PTA連合会 会長 木原 剛弘

Web環境がない家庭については、これまでと同様に学校のパソコン教室等、オンライン学習ができる場を提供したり、教師が家庭訪問等で「津市の「e3」ポータル」上でダウンロードできるワークシートやDVD等を配付したり、端末に必要なデータを保存して持ち帰らせたりするなどの対応を考えています。

■デジタル教材の準備など先生方の負担が増え、子どもたちと接する時間が減少するのではないかと心配します。先生の増員やICT化を推進するための取組などは、どのように考えていますか？

整備される端末では、クラウドサービスの利用を前提とし、そのため教員のパソコンで作成した教材をクラウド上に保存しておくことにより、授業で利用することができま。デジタル教材や、観察・実験の動画教材、ワークシート等を教員間で共有することで、教材作成等の効率化を図ることができ、教員の負担軽減につながるかと考えま。全教員が端末を効果的に活用して指導できるようにするために、企業等講師や指導主事による各学校での端末活用研修会等を企画するとともに、各中学校区において、端末の効果的な活用についてサポートできる体制を構築したいと考えています。

■タブレット端末は持ち帰って、家庭学習でも利用するのですか？

まずは、学校の授業での活用を中心に考えています。しかしながら、インターネットが活用できる環境にない家庭については、必要に応じて、家庭に持ち帰って活用する場合もあると考えています。また、授業と家庭学習の連動は必要であると考えため、オンライン環境を活用して家庭学習を行うことについては、積極的に取組を進めていきたいと考えています。

学校での新しい生活様式

■新型コロナウイルスの感染拡大により、子どもたちの園や学校での生活も大きく変化をしていると思います。現在、津市内での「学校での新しい生活様式」について教えてください。

長期的な対応が求められることが見込まれる状況にあり、このような中でも、持続的に児童生徒等が育んでいってほしいと願っています。津市においては、平成26年度から「特色ある学校プロジェクト事業」や「小中一貫教育推進事業」といった市の事業を展開し、各学校や各中学校区の特徴を生かした取組を進めてまいりました。

取組としては、学校と地域が連携して、地域の方のご指導のもと、米や野菜作りをする学習、図書館の整備や読み聞かせをする図書ボランティアさんの支援による学習等、地域の力による教育は大きな成果を上げており、子どもたちも心の成長や郷土を大切にする心を育んできました。

今年度も、感染拡大の状況を見ながら、規模を縮小して実施したり、できるものから再開したりして、地域とのつながりを大切にしたい取組を各学校の状況に応じて実施していく予定です。

コミュニティ・スクール

■「コミュニティ・スクール」という言葉を最近聞きましたが、どのようなことか教えてください。

学校運営協議会を導入した学校のことです。学校運営協議会は、校長が作成する「学校運営の基本方針の承認」を通じて、育てたい子ども像や目指す学校像等に関する学校運営のビジョンを共有します。校長は、承認された学校運営の基本方針に沿い、その権限と責任において具体的な学校運営を行うことになり、学校運営協議会は学校運営の最終責任者である校長を支え、共に力を合わせて地域とともにある学校づくりを行っていきます。

■現在の津市内でのコミュニティ・スクールの設置状況を教えてください。

平成17年に、南が丘小学校が全国でもいち早く、コミュニティ・スクールを導入し、先進的に取組をスタートしました。その後、朝陽中学校、南が丘中学校が導入し、今年度新たに小学校8校で導入され、現在、計11校が学校運営協議会を設置しています。令和3年度末までに、全ての学校に学校運営協議会を設置し、すべての学校がコミュニティ・スクールとなることを目指しています。

生徒等の教育を受ける権利を保障していくため、学校における感染及びその拡大のリスクを可能な限り低減したうえで、学校を運営していく必要があります。

そのため、国が示した「新型コロナウイルス感染症に対応した持続的な学校運営のためのガイドライン」や「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」『学校の新しい生活様式』等を参考に、教育委員会から各学校における感染症対策を促し、市内すべての学校が共通理解のもと、感染拡大防止に努めながら、子どもたちの学習保障のための取組を進めているところです。

具体的な取組としては、感染リスクが高くなるという「換気の悪い密閉空間」「多数が集まる密集場所」「間近で会話や発声をする密接場面」という3つの条件が同時に重なる場を避けるようにすることや、「マスクの着用」及び「手洗いなどの手指衛生」などの基本的な感染対策を継続する「新しい生活様式」を取り入れ、可能な限り、授業や部活動、各種行事等の教育活動を継続し、子どもたちの学びが保障できるよう工夫しています。

■4・5月にかけての臨時休業により、夏休み期間に授業日を設定したことで、臨時休業による授業の遅れはカバーできる見込みですか？

臨時休業に伴う授業時数の確保として、今年度は従来、夏季休業日であった7月21日から31日まで、及び8月17日から31日までの期間を授業日として設定しました。また、夏季休業中に大規模改造及び改修工事を行う学校については、土曜授業を行ったり、1週間あたりの授業時数を増やしたりするなど、授業時数の確保に努めます。

臨時休業に伴う学力保障については、各学校において指導時数の調整を行ったり、指導の順序を入れ替えたりすることで教育課程の再編成を行いました。限られた時間の中での効果的な教育活動が行えるよう、国や県の動向も踏まえて対応してまいります。

■新しい生活様式で3密を避けることを考えると、さらなる少人数学級の実現が望まれると思いますが、いかがでしょうか？

これまで確かな学力の向上を目的に進められてきましたが、新型コロナウイルス感染症に対応した「新しい生活様式」が求められる状況で

目指しています。

■「コミュニティ・スクール」の中でPTAはどのような役割を担うことになりましたか？

保護者や地域の方が代表として学校運営協議会の委員になっていただくことで、学校・家庭・地域で情報及び課題・目標・ビジョンの共有を確実に行うことができ、「何を目指すのか」「何に取り組む必要があるのか」等について協議するため、学校・家庭・地域の適切な役割分担がなされ、これまでの取組等のより一層の充実につながるかと考えています。

■校長が学校運営の基本方針を学校運営協議会に対して説明し承認を得るということは、地域全体で学校運営をバックアップしていくということですね。

輝く子どもたちの未来の創造に向けて、学校と家庭・地域がパートナーとして連携・協働による取組を進めていくことが大切です。コミュニティ・スクールでは、学校運営に地域の声を積極的に生かすことで、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていくことができますと考えています。

新しい学習指導要領

■今年から来年にかけて学習指導要領が改訂になると聞きましたが、具体的に何が変わるのですか？

今回の改訂では、社会に開かれた教育課程を重視すること、知識理解の質をさらに高め確かな学力を育成すること、豊かな心と健やかな体を育成することを基本的な考え方としておりま

子どもが「何を知っているか」とどまらず、「何ができるようになるか」という観点で、育てるべき資質・能力を3つの柱で整理しています。その3つの柱とは、①実際の社会や生活で生きて働く知識・技能が習得されること、②未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力等を育成すること、③学んだことを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力、人間性等を涵養することです。

子どもたちが主体的・対話的で深い学びを実現し確かな学力を身に付けるには、「何ができるようになるか」そのために「どのように学ぶか」

は、子どもたちのソーシャルディスタンスの確保や「3密」解消対策としての少人数指導体制の整備に取り組む必要性が非常に高いと感じています。小・中・義務教育学校の学級編成を30人程度とすることや、小1・2年生に実施している少人数学級の対象学年の拡大等について、国・県にお願いしていく必要があると考えています。

■部活動など、成果を発表する機会が無くなり子どもたちの喪失感は大変大きなものであると想像しますが。

体育的行事を実施する場合は9月以降とし、各学校においては、新型コロナウイルス感染症拡大の状況と授業時数の確保を踏まえた上で、規模を縮小したり、密にならないような実施種目の配慮をしたりするなど工夫して実施する計画を立てます。

文化的行事についても、体育的行事と同様に、各学校において、実施に向けて様々な工夫をしています。例えば、その目的、意義を大切にし、児童生徒の意欲を高めるような行事となるよう、開催する場所や時間、開催方法等を検討していますが、合唱などの内容については、感染拡大防止に配慮しながら練習に取り組むのが検討中であるということも聞いています。自分の将来の生き方や進路を模索し始める中学生にとって、仕事について考える機会は重要なものであることから、職場体験学習に代わって講師の方から職業講話等を聞く機会を設けるなど、中学校においては、キャリア教育の計画の見直しも行っています。部活動については、子どもたちのこれまでの練習の成果が少しでも発揮できる場、大切な思い出の一つとなるよう、感染症対策に万全を期しながら津市中体連夏季総合体育大会を開催しました。3年生の生徒たちからは、



ということを大切に授業改善に取り組んでいます。例えば、見通しをもって、粘り強く取り組む力が身につく授業、自分の学びを振り返り、次の学びや生活に生かす力を育む授業、周りの人たちと共に考え、学び、新しい発見や豊かな発想が生まれる授業等、各教科等を通じて得た力が将来にもつながるように、児童生徒の一つ一つの学びを大切にしたい授業づくりを目指しています。

■今年は授業参観の実施が難しく、学校での様子を直接見る機会が少ないです。私たちPTAとしても、出来る限り学校での様子や取り組みを発信していきたいと考えています。

今回このような形で、教育委員会の考えや学校の取組を発信していただき、保護者の方の理解がより深まることを大変ありがたく思っています。

コロナ禍において、何かと大変な状況が続いておりますが、子どもたちの未来のために一丸となって、この大変な状況を乗り越えていきたいと思いますので、今後ともよろしく願います。

今回、森教育長のお話を伺い、津市の教育行政が課題を見据えしっかりと取り組んでいることを再認識することが出来ました。

コロナ禍で、子どもたちの生活環境は日々変化をしていますが。津市PTA連合会としても、いま取り組んでいる課題をPTA会員のみならずと共有していくことが何より大切であると考えています。

今後ともより一層のご理解、ご協力をお願い致します。